



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和6年10月4日（金）No 23 発行
文責：松本 卓也

「自分の思いを伝えること」「仲間の思いを受け止めること」

1日（火）、F・氷川ブロック人権同和教育授業研究会を2・3年生で行いました。50名を超える多くの先生方に、本校のなかまづくりの実践をみていただきました。2年生では、「（全国水平社を創立した）西光万吉の生き方や水平社創立宣言文から自分自身を見つめ直し、自分の考えや思いを伝え合い、これからの生き方を考える」ことを目標に、2人の生徒が綴った作文をもとに自分の思いを伝えました。3年生では、「美子さんの生き方か自分を見つめ直し、お互いに思いを伝え合いながら、自分の生き方を受け止めることを目標に、3人の生徒が自分の中にある不安な気持ち、大切にしたい気持ちを発表しました。「小学校で受けた悪口や落書きのこと」「人前で話すことが苦手だけど、本当はみんなと話したいこと」「音程が上手でよくとれないことを、周りからふざけていると思われていたこと」「家事をほとんどしなければならぬことへの辛さと、祖父への感謝」「2回の転校によるストレス」等々、これまで伝えることができなかった思いを勇気をもって発表してくれました。発表を聞いた子どもたちからは、「これまで思っていたこと」「友だちに話したいこと」を自分の言葉で返していました。思いが繋がっていき温かな時間が流れました。参観者の感想には、



- 班づくりは部落差別をなくすための最小集団、とても刺さりました。
- これまでの子どもたちとの関わりがあったからこそその本時であると思った。
- あまり自分のことを語らない生徒の想いに寄り添い、この場まで持ってこられたN先生の取組がすばらしいと思いました。
- 自分のクラスとすごく重なった。クラスの生徒で勇気を持って発表してくれる子がいるだろうかと不安にはなるが、「自分の思いを涙ながらに語る。それを仲間の言葉として受け取る」という経験をしてほしいと思った。
- 授業者の話が最後のまとめだけで、子どもたちの語りと返して進められていたところが素晴らしい。
- 自分たちの思いを本気で語っている姿が印象的でした。すてきな雰囲気だと思いました。
- それぞれが抱えている悩みや思いを知れて、これからの生徒の成長が楽しみです。
- M先生がしっかりと芯をもって生徒たちと向き合う、関わり合う姿に感動しました。



協力者の先生方からは、子どもを見るということ、教材とクラスの実態を重ねて授業づくりをしていくこと等、さまざまな視点でご助言をいただきました。また、今後の実践に向けて、「語れたから終わりではなく、ここからがスタート。子どもたちを支えていきたいですね。」とエールをいただきました。子どもたちが本当につながり合うために、「自分の思いを伝えること」「仲間の思いを受け止めること」をこれからも取り組んでまいります。協力者のI先生、I先生、人権学習講演会でご講話いただきましたH様、M様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

ピカッと、安全！ 命を守る早めのライトと反射材

9月21日（土）から30日（月）まで秋の全国交通安全運動が実施されました。今年に入って交通事故によって亡くなられた方の半分近くが歩行者や自転車に乗っている方だったそうです。日没がだんだんと早まるこの時期、歩行者には反射材等の着用促進（自転車は反射器材の取付け）、ドライバーには夕暮れ時の早めのライト点灯が推進されています。お互いが交通安全を意識し、事故防止を心がけましょう。地域の方の見守り、ありがとうございました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）